



- 博物館資料でめぐる - 植物デザイン展

令和8年度
テーマ展①

展
示
構
成

第1章…「美を競う～美しき植物デザイン」

第2章…「花鳥画の世界」

第3章…「人々の願いとともに」

4/24(金)
～6/14(日)

第1章… 草花の存在は、人々の心に深い癒しと安定をもたらしてきました。その美しさを楽しむだけでなく、香りを楽しんだり、花言葉と合わせて楽しんだり、人々の生活に彩りをもたらしています。

こうした植物への愛は、美術品や普段づかいの道具などへも反映されています。その美しさを競い合うように施された、植物の彩りをお楽しみください。



川口月嶺「花籠図屏風」(江戸時代末期)



台焼「色絵花鳥文飾皿」
(昭和20年代)

第2章… 花鳥画とは、花や草木、鳥などの自然や動物を主体として描かれた絵画のことです。季節や自然の美しさを表現することはもちろん、吉祥の題材を描いて幸福や繁栄を意味する作品も多く制作されました。

日本人は、四季の移ろいとともに自然の動植物を愛してきました。花鳥画に描かれた自然美は、現代においても変わらず、見る人を感動させます。



本堂蘭室「孔雀図」(文化2年) ※白い花は梅

第3章… 人々は古来より、植物の姿や育ち方、その名前などから、富貴、長寿、繁栄のような縁起の良い物事をイメージし、そのシンボルとしてきました。

本章では、こうした縁起の良いモチーフとなっている植物が描かれた資料を紹介します。

裏面に続く

1学期に実施できる出前授業の紹介

過去4年間、6月～7月に実施してきた出前授業は、次の3種類です。学芸員によるスライド解説(パワーポイントを使用した授業)だけでなく、「縄文時代の暮らし」と「戦争と花巻」は、スライド解説の後に実物資料(縄文土器片・兵士の衣服や爆弾破片など)を手に取って観察できます。ぜひ、実施についてご検討をお願いします。

「縄文時代の暮らし」
小6…「国づくりへの歩み」の導入orまとめとして実施

Q1 縄文人ってどんなひと?

スライドの例

縄文人さん

【身長】
 男性：約159cm
 女性：約149cm

【顔】
 目が大きい
 ニ重まぶた
 くちびるが厚い

【特徴】
 狩り・魚釣り
 家づくり
 土器や石器づくり

【体格】
 手足に筋肉がついてがっしり

【楽しみ】
 オマツリ

【寿命】
 30～40歳くらい

「花巻電鉄」 (対象は小6～中3)
中学生…かつて賢治や光太郎も使った花巻電鉄を解説(馬面電車の狭さも疑似体験)

←材木町公園の電車




↑電車の幅の体験

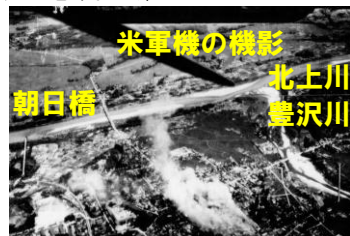
「戦争と花巻」 (対象は小6～中3)
中学生…1学期に実施する中学校の多くは戦没者追悼千羽鶴作成の意義理解を目的として実施

米軍機の機影

朝日橋

北上川

豊沢川



※昨年度新たに作成し、博学連携研究員のみなさんに検討していただいた出前授業プログラム「豊臣秀吉の全国統一と花巻」は、2学期までには実施できる状態になると思います。実施を希望される場合には、博物館ホームページの依頼フォームから依頼してください。

「豊臣秀吉の全国統一と花巻」の概要(予定)

- ①戦国時代前後の全国の様子と花巻周辺の様子(各地区の城柵や館)を紹介～②豊臣政権と花巻地区の領地をめぐる顛末を紹介～③花巻城の役割を紹介～④武具の紹介(ここまでスライドで実施)～⑤模造刀・火縄銃・足軽甲冑をさわって観察

博物館主催のワークショップの紹介

5月の連休中に、「①勾玉づくり」「②琥珀玉づくり」「③縄文弓矢・火起こし体験」のワークショップを行いました。今後のワークショップの予定は、右の通りです。

今年度のワークショップは、7/4から始まる今年度2つ目のテーマ展「**つくり、つたえる花巻の工芸**」の関連イベントとして、花巻の工芸関係の体験活動を、例年より多く予定しています。

今後のワークショップの予定

- | | |
|--------------|------------|
| ④台焼絵付け | 6/13(土) |
| ⑤壁掛け傘づくり | 7/19(日) |
| ⑥花巻人形絵付け① | 7/26(日) |
| ⑦成島和紙うちわづくり | 8/8(土) |
| ⑧ブックカバーづくり | 9/19(土) |
| ⑨鍛冶丁焼づくり | 10/25(日) |
| ⑩成島和紙飾り紙箱づくり | 11/7(土) |
| ⑪花巻人形絵付け② | R8/3/14(日) |

※いずれも13:30開始です。
 ※予約は1か月前から開始です。
 ※申込が必要です(先着順)。
 ※料金が必要です(活動により差異あり)。

コラム みなさんは、美術館や博物館の展示室が暗いことを疑問に思ったことはありませんか? そのわけは、展示資料を保護するためなのです。資料は、強い光にあたると劣化が進みます。そのため、展示室内の明るさを抑え、フラッシュを使うカメラ撮影を禁じています。光による影響をあまり受けないように、企画展示などの場合は期間を限って展示しています。また、皆さんによく見ていただきたい資料の場合には、最低限のスポットライトを当てています(ちなみに…スポットライトの位置や光を当てる角度等を調節するには、大きな足場を組んで学芸員が上がり、一つ一つ手作業で行っています)。展示をご覧になるときの参考にさせていただきたいと思います。